非核・いしかわ

〒920-0848 金沢市京町 28-8　石川民医連労働組合
TEL076-251-0014　Fax 076-251-3930
ゆうちょ口座 00760-0-15689　年会費 3000 円（全国紙代含む）

2018 年 12 月 20 日　月刊第 245 号　発行／非核の政府を求める石川の会

非核五項目
① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

核兵器禁止条約の調印は 69 か国、批准は 19 か国（12 月 20 日現在）

1 面　住民の調査が明らかにした断層活動と志賀原発廃炉への道すじ　立石雅昭
3 面　再生可能エネルギーによる地域の自立　佐藤彌右衛門
4 面　「トモダチ作戦」兵士たちの放射線障害と裁判　エイミー・ツジモト
5 面　朝鮮の人たちがかかわった加賀市の史跡　日朝協会石川県支部
6 面　サッカーの「ピースマッチ」　森尾嘉昭
6 面　被爆と被曝の救済と廃絶に向けて　山口修治
〈独標〉十月　寺本まち子
8 面　石川の地域点描 シリーズ　中西　優
絵手紙コーナー　田伏久子

原発問題住民運動石川県センター結成三〇周年記念のつどい

住民の調査が明らかにした断層活動と志賀原発廃炉への道すじ

新潟大学名誉教授　立石雅昭

講師の立石雅昭さん

石川で二〇一二年から皆さんといろいろな調査をして六年が経ちました。石川のように科学者と住民団体が協力し合って運動をやっているところは、全国でもありません。各地へ行って現場で、「ここにはこんな問題がある」という話をしても、たいがいは一回や二回で終わってしまいます。そういった中で石川は特別なところだという思いを強めています。

志賀町の西海岸地域での段丘堆積物の調査

志賀原発の北にある牛下で、「こんなに立派な露頭（崖）がある」ということで観察しました。ここは、海の堆積物でできている場所だと、最初に見出したところです。県道の横から港に降りて行く際に、だれでも通る道の横ですから、露頭があることはすぐにわかります。この露頭は海の堆積物だと判断した具体的なデータも示して、北電と県への申し入れで何度も説明しています。北電はこの場所を知っていながら、それを完全に無視して、自分たちに都合のよいデータだけで主張を組み立てているのです。

巌門の露頭もそうです。二〇一二年に喫茶店の駐車場を拡幅したのに伴ってできたものですが、この砂の層をよく見ると、特徴的な縞模様が見られます。葉理というもので、重鉱物が多い黒い層と軽鉱物が多い白い層からできていて、海の波打ち際で堆積してできる地層です。私たちは北電への申し入れで、ここの写真やデータを示して説明していますから、こういう露頭があると彼らは知っているはずです。ところが北電が書いた論文には、ここの露頭のこともまったく書いていません。

花鳥風月

一一月の金沢市長選挙で山野之義氏が再選されたが、「市民本位の金沢市政をつくる会」が擁立した南章治氏は約一万五千票を獲得した。二〇〇〇年以降では、二〇〇六年の故・平田俊一氏に次ぐ得票数であった。家庭ごみの有料化など山野市政への不満や怒りと評価することができよう▼しかし何よりも考えねばならないのは、投票率が二五％に達しなかったことであろう。四人中三人は投票していないのだ▼投票率の低さは予想されており、選挙事務所への取材でもかなり聞かれた。私は、最初のうち「とにかく、投票に行ってほしい。どちらの候補も意に添わなければ、白票でもいい」とコメントしていた。しかしある全国紙の記者が「それはおかしい」と食ってかかってきた▼彼女によると、当選者が意識するのは自分と相手の得票数だけであり、白票は無視されるだけ。白票は自己満足でしかなく、自分の一票を託す候補者を何としても選んで投票するのが市民の義務、という。これまでの取材経験からの思いらしい▼記者に説教されたのは初めてだが、なかなかの見識であり、なるほどと思わされた。それ以降、私も取材へのコメントを変えた。（山）

志賀原発の西側の海岸の断層と原発敷地直下の活断層

志賀原発の西側の海岸でも調査を行いましたが、「こんなところに原発をつくっているのか」とショックを受けました。志賀原発の敷地の中には、原子炉建屋の直下も含めていくつもの活断層が走っていますが、これらと同じ方向で、すぐ横の海岸にも断層が走っているのが見られます。

断層があるのは明らかなのですが、「断層＝地震を起こす」ということにはなりません。能登半島では数百万年前ころから火山活動があり、十数万年前ころからは地盤の隆起が起こってきました。そういった際に断層ができるのですが、古い時代にできた断層は、現在も地震を起こすというふうには必ずしもなりません。

では、断層の活動性をどうやって見るかというと、断層の上を新しい時代の地層がおおっていて、**その新しい時代の地層が切れているかどうかで判断**します。海岸の断層は、その上を新しい時代の地形がおおっていないので、活断層かどうかは判断できません。一方、原発の敷地の断層は、その上を十数万年前に堆積した地層がおおっていますから、それがずれているかどうかで活断層かどうかを判断することができます。原子力規制委員会の有識者会合がそれを検討した結果、**活断層の可能性を否定できない**ということになりました。規制委員会は困っているでしょうね。活断層だったら、廃炉にせざるをえませんから。

ノッチ（波食窪）の高度分布調査

ノッチとヤッコカンザシも、皆さんといっしょに調査しました。志賀原発周辺の海岸で、これらの高度分布を調べたのです。暑い日もありました。

現在の海水面の高さで、打ち寄せる波で窪みができているのをノッチといいます。もし、それよりも高いところでノッチがあると、かつての海水面がその高さにあって、それが現在の高さまで隆起したことを示します。一〇万年ほど前にできたノッチは、侵食によってすでになくなっています。現在もノッチが残っているということは、比較的新しい時代に隆起したということを示します。

巌門にはノッチが三段あるのがわかりました。福浦新灯台の下にも三段のノッチがありました。海面から二〜三㍍の高さのノッチだけしかない場合は、今から五〜六〇〇〇年前の縄文時代に海面が高かった時にできたものだと言われれば、これは否定できません。しかし、これよりも高いところにノッチが二段あるということは、この地域が隆起してきた場所であることを明確に示します。

ヤッコカンザシ生痕化石の高度分布調査

ヤッコカンザシという、ゴカイの仲間の生物の化石も調査しました。ヤッコカンザシは海面すれすれか、もしくは海面の下の岩に、石灰質の棲管をつくって生活しています。潮が満ちてきて棲管が水没すると、ヤッコカンザシはそこから触手をのばしてプランクトンを捕って食べます。この棲管の化石が、陸化した岩礁のある高さにあれば、そのヤッコカンザシが生きていた時期からこれまでの間に、当時の海面から現在の高さまで隆起したことを示します。

機具岩では四つの異なる高さで生痕化石が見つかりました。一番高いものは海面から一八〇〜一九五㎝のところに化石がありました。その年代を調べると、紀元前三〇五〜一二五年という値が得られました。調査結果から、この地域が約二千年前から現在までに、少なくとも四回の地震による隆起が起こったと考えられます。この地域はたいへん活動的な場所なのです。

志賀原発の廃炉へ

廃炉問題についての運動のステップは、石川と新潟では違うし、全国でも違っていると思います。原発の廃炉には巨額の費用がかかるということもふまえて、廃炉にしようということを県民合意にしていく必要がありますが、それは簡単なことではないでしょう。廃炉費用を電気料金からまかなう、そうなると電気料金が上がってしまうということで、廃炉がなかなかすすまないということにもなりかねないわけです。そういうことも議論して、その上で原発を廃炉にするという合意を勝ちとっていく必要があります。

使用済み核燃料の問題もたいへん難儀で、廃炉を決めたからといって、この問題がなくなるわけではありません。乾式貯蔵という新しいやり方もありますが、それも含めて使用済み核燃料は安全な管理をさせて、現地で受け止めるという覚悟が要ります。廃炉を運動の課題に掲げるということは、そこまで踏み込んで議論するということを意味するのだと思います。

（まとめ　児玉一八）

◎十一月二五日、近江町交流プラザ四階集会室で開かれた「原発問題住民運動石川県センター結成三〇周年記念のつどい」における記念講演要旨です。

◇講演要旨◇

再生可能エネルギーによる地域の自立

会津電力㈱代表取締役・大和川酒造代表　佐藤彌右衛門

講師の佐藤彌右衛門さん

私は福島県喜多方市にある創業二二八年の造り酒屋の九代目当主です。二〇一一年三月の福島第一原発事故の時、造り酒屋もこれでおしまいかと本当に青ざめました。

原発立地の自治体や近接の自治体では事故発生後、速やかに避難指示が出されたが、福島第一原発から四〇km離れた飯館村も事故当時の風向きの影響で放射線の空間線量が高くなり全村避難となった。

国と電力会社はずぶずぶの関係だ。電力会社一〇社で構成されている電気事業連合会は歴代の首相をコントロールしてきた。小泉純一郎さんは「だまされた」と反省して、今は原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟（略称・原自連、佐藤彌右衛門氏は同副会長）を起ち上げて原発ゼロの運動を推進している。

福島第一原発事故につき誰も責任をとらない状況が七年間も続いている。さらにいまはタンクに貯蔵している放射能汚染水を今後、太平洋に流すことを検討している。そんなことをしたら世界中から非難が集中する。

国や原発立地自治体は、地震やテロの可能性があるのに原発をやめようとしない。福島原発から約三〇〇km離れた東京に送電すると電力が二五%も失われる。原発が本当に安全、安心というならば、都会のど真ん中、東京湾につくればよい。

原発を廃炉する費用は一基一兆円かかるが、電力会社は一基につき一千億円しか準備していない。後は国が面倒をみる、つまり税金を投入するという。廃炉には三〇年かかると云われているが、全くのウソである。三〇年と云っておけば先送りになるからだ。

国づくりの基本は治山治水

福島第一原発では格納容器の破損状況が確認できないほど全く手がつけられない状態だ。さらに使用済み核燃料の処理方法も未定である。このままでは次の世代に禍根を残すことになる。福島第一原発の後始末が全く進んでいないにもかかわらず、安倍首相は、原発再稼働、世界への原発輸出を模索している。今やるべきことは、原発を止めること、使用済み核燃料の処理方法や原発廃炉の進め方など早急に検討することである。

三〇年前のチェルノブイリ原発事故の後、ヨーロッパでは原発から再生可能エネルギーに舵を切っている。日本の再生可能エネルギーは太陽光、風力、バイオマスなど多様な選択肢がある。かつての日本は山の木を切り、炭を作り燃料として使っていた。水と食料、燃料は全て自給していた。国や行政の役割は治山治水が基本であり、自給力を高めることだ。

会津電力株式会社を設立

国や電力会社がアテにならないため私たちは二〇一三年八月に再生可能エネルギーをつくる市民電力を起ち上げた。地元八市町村からも出資を受けて県内企業、地元金融機関、個人株主の参加により会津電力株式会社を設立した。

再生可能エネルギーによる発電は、国が二〇年間はビジネスモデルで買ってくれる。太陽光も風力も水力も一旦設置すれば、あとは自然の力で発電してくれる。私たちはメンテナンスの役割をすればよい。発電の売り上げは自然の影響で多少の変動はあるが、大体安定している。私たちは、地域のエネルギーを地域で循環させることを重視している。

もうひとつ大事なことは、発電所を分散型にしていること。北海道地震では、道内最大の火力発電所の停止を引き金に全域約二九五万戸が停電する「ブラックアウト」が起きた。

会津電力グループでは、県内七〇ヶ所に太陽光発電所を設置しており、総発電量は五〇六七kwである。間もなく小規模発電施設も具体化する。発電は太陽光、風力、水力、バイオマス等地域で必要なだけつくればよい。私たちの発電所は分散型でそれぞれの地域で単独で使うことができる。

安全・安心・安定のベースロード電源に

現在、太陽光発電は総発電量の約一五%である。安倍政権は原発をベースロード電源と位置づけて原発比率を二〇%～二二%目標にしている。しかし、科学技術の発達でいまでは天気予報が外れることはほとんどなくなっ

【次頁四段に続く】

◇講演要旨◇

「トモダチ作戦」兵士たちの放射線障害と裁判

フリーランス国際ジャーナリスト　エイミー・ツジモト

講師のエイミー・ツジモトさん

一〇月二一日、近江町交流プラザで、第一六回目の原発・いのち・みらいシリーズ講演会が開催された。「トモダチ作戦・兵士たちの放射線障害と裁判」をテーマに、エイミー・ツジモトさんが講演された。

ツジモトさんは米国ワシントン州出身の国際ジャーナリストで、日系移民の歴史や捕虜問題等の著述がある。祖母は金沢市出身の日系移民、母は広島原爆の被爆者で、金沢市での講演は特別な思いであると自己紹介された。

二〇一一年三月一一日、東日本大震災、東電福島第一原発事故という大災害が発生。オバマ前大統領の電話による支援の申し出を菅総理（当時）が受け入れ、救援の要請がされた。西太平洋を航行していた原子力空母ロナルド・レーガンは、三月一二日急遽被災地への救援に向かった。いわゆる「トモダチ作戦」である。

三月一三日、ヘリで帰艦した士官の靴の検査で線量計が激しく鳴った。放射能汚染の状況を問いあわせたが、日本政府は曖昧な回答。怒り心頭の横田基地の司令官が外務省に乗り込んで各省庁を調べさせた結果、文科省のスピーディー（SPEEDI）の存在が判明し、その情報を米軍に送付した。

三月一三日、兵士たちは食料、飲料水、医薬品等の救援物資をヘリで被災者に届けた。甲板要員等は飛行甲板上で、救援物資を艦内から運び出し、ヘリに積み込む作業に従事。三月なのに生暖かい空気を感じ、アルミホイルの味がしたと証言。日本の陸地が見え、津波で流された残骸や遺体を目撃したとの証言も多い。

多くの艦載機を搭載する空母は、他の艦船と異なり外気の流入が容易であり、汚染された外気は空調で艦内の奥まで入る。線量計の警報が鳴り響く中、飛行甲板の階下のスペースで乗組員は衣服をすべて脱がされ、シャワーを浴びて除染するよう命じられた。三月一五日、艦長から脱塩蒸留水の飲用や、シャワーの使用を禁じられたが、ペットボトル飲料はすでに被災地に輸送されていた。頻尿や下痢を訴える者が続出し、女性兵士達はトイレに長い行列を作るという前代未聞の事態。その後、頭痛、脱毛、下痢、下血、皮膚の焼けるような痛み等を訴える者が続出した。

時間の経過とともに、兵士たちの病状は深刻となり、大腸癌、甲状腺癌、子宮癌、白血病、骨髄腫などの悪性腫瘍の診断を受ける者や、倦怠感、膀胱不全、全身の痛み等の症状が続き除隊を余儀なくされた者も多い。二〇一七年末には死者は九名に達した。

長期の作戦航海をする原子力空母の乗組員は約五五〇〇人。多くが若い健康な兵士であり、健診も受けているのに四〇〇人を超える者が深刻な健康被害を被り、困難な中で東京電力を相手取った訴訟に参加した事実は重大である。他の作戦行動ではあり得ないような重大な健康被害である。

原発事故で放出された放射性物質の八〇％以上は太平洋側に流出し、放射性プルームとして漂う中を空母レーガンは航行し、大量の放射性物質を被曝したことは容易に想像できる。

ツジモトさんらの仲介で、原告達が小泉元総理に面会した際、元総理は大きな衝撃を受けて涙し、訴訟費用の一助として募金活動を行い、三億円を超える寄付を集めた。

米国の退役軍人会も「人道支援で重大な健康被害を被った兵士達に報いる必要がある」と運動を強めた背景もあり、東京電力は日本での裁判を主張して控訴したが、連邦控訴裁は米国での審理を認める決定をした。誰が、何を隠そうとしているのか？　今後の推移が注目される。

（まとめ　河野晃）

◇　◇　◇　◇

【前頁四段からの続き】

た。太陽光と風力による発電こそ、安全・安心・安定のベースロード電源になる。日本はここにキチンと目を向けて、再生可能エネルギーに全知全能をつぎ込まなかったら世界からリスペクトされない。

（非核・いしかわ編集部）

◎一一月一七日、シネモンドで上映されたドキュメンタリー映画「おだやかな革命」に出演された佐藤彌右衛門さんの講演要旨です。主催はNPO法人市民環境プロジェクトです。

非核・平和のひろば

◆第三七回歴史フィールドワーク◆ 朝鮮の人たちがかかわった加賀市の史跡

庄町　旧奉安殿

江沼歴史研究会の加端忠和さん、佐藤公男さんと合流し、先ず庄町の神社脇に設置されている小さい祠（ほこら）のような屋外の旧奉安殿を視察。県内には津幡町、小松市にも現存しているそうです。

マイクで説明をされているので、町内の方が何事かと遠巻きに私たちを見に来られていました。

白鳥町　中島飛行機工場跡地

白鳥町の舞鶴海軍工廠管理の中島飛行機地下工場予定地の石切り場跡へ。ここは入り口までの道路は雑木が繁茂しており大通りで説明がありました。この地下工場建設には約一〇〇人の朝鮮労働者が約4㎞山合いの直下（そそり）町から朝晩徒歩で一時間かけて通った。

工場は終戦になり未完。

直下町　朝鮮人合宿所

加賀市直下町　寺院の境内で

白鳥町の工場建設労働者が合宿されていた集落。寺院の境内に仮設のお風呂、便所、食堂を置き、本堂と近くの廃業された織物工場に別れて、寝泊まりをされていた。寝床は筵（むしろ）一枚だったという。

監視が厳しい中でもお腹を空かした労働者は、集落の人に物乞いに来られたそうで住民もわが子を視る思いもあり協力的であった。終戦後一週間で退去された。

ここへ来る途中、「憲法九条　世界の宝」と納屋の壁に大きく掲げた看板が目に入り、胸熱くなりました。

山中海軍病院　地下壕

病院施設は三万坪。少し離れた源氏山地下壕は長さが三〇〇mあり、手術室も備えた本格的な構造であった。

山中温泉・海軍病院地下壕

国立山中病院厚生寮

県内初、復員疾病者の社会復帰のための職業訓練施設（今の授産施設）が一時期開設されていました。

朝鮮の石像と石塔

新家工業（株）の公園に、朝鮮半島からの一五基の石像と石塔があり、見ごたえのあるものでした。

桑原町　平和工房

佐藤公男さんが退職後、私費を投じて作られた資料館。

「貴重な資料を誰もが利用できる館にし、資料はこれからも拡充していきたい」と思いを。金秉権さんに「徴用工問題と日韓請求権協定」について、加端さんに「朝鮮人と加賀のかかわりの研究への想い」を語っていただきました。

予察と事前学習

実施にあたり、二度の予察と事前学習をし、当日はマイクロバス二台が満席の二四人で史跡を訪ねました。

（日朝協会石川県支部事務局）

◎「日本と朝鮮」石川版一二月号より転載

石川発、反核・平和の願い

CD「平和の子ら」制作・普及にご協力を！

制作普及協力金　1口2000円

協力金はCD制作費と石川県内の小学校（208校）に寄贈する費用に充てられます。また、1口につき1枚のCDを協力者に贈呈します。

CD「平和の子ら」制作委員会

代表　金森俊朗・西本多美子

＊詳しくは同封の案内チラシをご覧ください。

非核石川の会リレーエッセー

サッカーの「ピースマッチ」に寄せて

森尾嘉昭

背番号が86と89のユニホームで、八月一一日広島で、J1のサンフレッチェ広島とV・ファーレン長崎の試合が開催された。「ピースマッチ」と呼ばれた。

日本のサッカーの始まりは、一九〇四・明治三七年イギリスの英語教師デハビランド氏が東京高等師範学校（現在の筑波大学）で学生たちにサッカーを教えたことからとされてきた。実は、デハビランド氏は、東京高等師範学校に赴任する前の六年間、石川県金沢市にあった旧制第四高等学校で英語を教えており、サッカーを教えていたことが報道されていた（二〇一三年五月六日付北國新聞の記事）。

ユニホームの背番号を紹介する両チーム

こうして、サッカーが日本で広がり、一九三六・昭和一一年に開かれたベルリン・オリンピックに日本代表チームが初めて、出場することになった。その最初の試合で、世界中を驚かせ「ベルリンの奇跡」と語り継がれるドラマが起こった。優勝候補のスウェーデンとの試合、後半四〇分に相手ゴールキーパーの股を抜く逆転ゴールを決め、日本チームが勝利。そのゴールを決めたのが松永行（まつながあきら）選手であった。

松永選手は、静岡県立志太中学校（現在の藤枝東高校）のサッカー部主将として活躍し、東京文理科大学附置東京高等師範学校（現在の筑波大学）に進学、FWとして、一〇〇メートル一〇秒八台で走る俊足であったと伝えられている。同大学の二年生の時に、ベルリン・オリンピックに日本代表チームとして出場し、「ベルリンの奇跡」の立役者となった。

一九三七年、同校三年の時に陸軍に従軍。その際に、「戦争に行きたくない。もう一度ドイツに行って、サッカーを学び、指導者になりたい」と妹に語ったと伝えられている。そして、一九四三年一月ガダルカナル島で戦死した。スポーツは平和と共に。このことは、先人たちから引き継がれ、さらに、後世へと引き継いでいかなければならない。最初にふれた「ピースマッチ」が開かれたことに胸を熱くした。

被爆と被曝の救済と廃絶に向けて

山口修治

敦賀半島や下北半島や能登半島の原発など、安全神話の中で建設されてきたとはいえ、なぜ東京都内で、なぜ大阪市内で建設されてこなかったのか。それは、広島と長崎での筆舌に尽くしがたい原爆の被害、原爆と根は同じの原発、だれもが言わず語らずのなかでの周知の事実がそうさせたのだと、あらためて思っています。

二年前に訪れた青森県大間、対岸の函館では反原発の大きな運動が展開される中、大間ではさだこハウス以外の方は表立っては黙して語らず語れず、町のまつりの幟り旗などの隅にはほとんどすべてに原発振興協賛が明示されていました。過疎化が進む中で、過大な安全神話と平行して札束で個々工作が進められてきた話を前に訪れた時に聞きました。回りからの反原発の声を上げることが、現地の方のためにも重要だと痛感しています。

被爆者の救済も被曝者の救済もなおざりの日本、核兵器禁止条約への署名に背を向け、原発再稼動に前のめりの日本、まぎれもなく我々が生きている日本、署名を集め、「どいね原発！」に参加し、原発反対の歌も作って歌っているけれど、あと何をすればと自問自答の日々。

秋の石川県社会保障推進協議会の自治体キャラバンに参加して能登半島の六市町を訪問して懇談してきましたが、過疎化や保育士、介護士不足など、行政運営が深刻なことが語られ、「どうしたらいいでしょうか・・」と逆質問された町もありました。安倍暴走政治の転換が必要だと、あらためて痛感しました。

以前、福井県大飯町出身の方に原発ノーの署名をお願いしたら、「原発に依存しきっている町、原発が無くなれば町も無くなる・・。町の存続の見通しが立たなければ署名できない・・両親も住んでいる・・」とのことでした。われわれの運動も、総合的な取り組みが必要だと実感・痛感した場面でもありました。

一斉地方選挙や参議院選挙に向けて、仲間と汗を流している今日この頃です。

詩人会議かなざわ「独標」より

十月

寺本 まち子

風が吹きぬけて
畑のリンゴが 落下した。
枝から はなれ
地にころがったリンゴの重量と
リンゴの現実を
土は やさしく受け止めた。
これって、
男女の性愛と似ているね
生きて 恋して 死んで、
と言うより
死んで 恋して 生きるってやつ。
死は終りではなく
死に終りはなくむしろすべての発端
だと
気づく十月、
感情と同じくらい蒼ざめた空の下、
畑地に屈折するひかり、光。

《編集室より》

◎メディアに歴史的な日「二二・八」の報道がほとんど無くて残念に思っていると、いいことを知った。それは国連総会が五日、**核兵器禁止条約への署名と批准を呼びかける決議**を一二六か国、国連加盟国の約三分の二の賛成で**可決**したことだ。これを七七年前の日本軍の武力行使開始の当日に、それに関する社説を掲げた同じ新聞で知ったのだ。

それによると総会で、約二〇か国から禁止条約の批准の準備をしている、との発言があったようだ。発効には五〇か国の批准が必要なので、現在までに批准した一九か国を合わせると、近い将来の発効が見通せる。この状況に核保有国は圧力を感じ、他の問題では対立しあう**核保有五大国（米英仏ロ中）が一致して禁止条約に反対する声明を発表（一〇月二二日）したことは、危機感の表れ**に他ならない。

もう一つ指摘しておきたいのは、今国会会期末に「入管法」「漁業法」「日欧ＥＰＡ」を数の力で一気に押し通した安倍政権が、**反対世論と野党の結束の前に六日、衆院憲法審査会の開催を見送ったことだ。すなわち〝改憲案の提示を断念した〟**ことになる。今後も油断ならないが、安倍政権による〝壊憲〟を一時停止させたことになる。この報道も大きい事なのに何故か、メディアの扱いは小さい。とても不思議だ。

マクロン政権がパリ暴動で揺れている。単に燃料税への不満だけではないにせよ、「フランス革命」「フランス人権宣言」を打ち立て、「レジスタンス」のお国柄。背後に無抵抗ながら支援する民衆の存在なくして起こり得ることではなかろう。お隣の韓国も叩かれながら粘り強く立ち上がるという歴史を繰り返している。

だが日本は、権力が暴力を振るっていると言っていい場合であっても、**民衆は従順なままである。他国の真似をしろとは言わないが、保守も変わっていく取り組みにしなければなるまい。有権者の心に入っていく活動こそ決め手**であろう。（中）

沖縄の民意に従い
辺野古新基地は中止！　普天間基地の撤去！
全国紙および沖縄地元2紙に意見広告への賛同を呼びかけます

非核の政府を求める石川の会

9 月 30 日の沖縄県知事選挙で示された「辺野古新基地ノー」の民意を無視して安倍政権は工事を強行しています。2019 年 2 月には、辺野古新基地建設の是非を問う沖縄県民投票もおこなわれます。いまこそ、全国の世論を広げて、辺野古新基地断念と普天間基地の閉鎖、撤去を日米両政府に迫るときです。その取り組みの一環として、全労連・安保破棄中央実行委員会・沖縄県統一連の呼びかけで、新聞意見広告の運動がすすめられています。非核の政府を求める石川の会も賛同団体となり、会員のみなさまのご協力を呼びかけます。

【掲 載 時 期】2019 年 4 月予定
【掲載予定紙】　全国紙および沖縄地元２紙
【賛　同　金】　団体 1 口 5,000 円　個人 1 口 1,000 円（何口でも可）
【申 込 期 間】2018 年 12 月～2019 年 3 月
【呼びかけ団体】全労連、安保廃棄中央実行委員会、沖縄県統一連
＊詳しくは同封の案内チラシをご覧ください。

シリーズ石川の地域点描 28

フォトグラファー　中西優

有名な観光スポット、輪島市の白米千枚田で冬から春先に行われるイルミネーションイベント「あぜのきらめき」が始まっています。これからは積雪とイルミネーションの組み合わせも楽しめそうです。

今年も残すところあとわずかとなりました。一年の総まとめと来年への準備へと忙しい時期ですが、一気に寒くなるころでもありますので体には気を付けつつ、みなさまお過ごしください。

輪島市・白米千枚田のイルミネーション「あぜのきらめき」

絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班

田伏久子

非核・平和の掲示板

月	日	曜	時	内　容	
12	23	日	14:00	医療・福祉問題研究会「医療・福祉と人権ー地域からの発信」出版記念シンポジウム	金沢市堀川新町・ホテル金沢
	26	水	12:50	第83回 怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園教育会館口
	26	水	13:00	広島・折り鶴の少女の兄　佐々木雅弘さん講演会	加賀市片山津温泉・湖畔の宿「森本」
1	1	火	10:00	核兵器廃絶元旦署名行動	金沢市尾山町・尾山神社前
	9	水	12:30	核兵器廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵町・Mza前
	9	水	12:50	第84回　怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園教育会館口
	12	土	14:00	消費税に反対する学習会／講師　人権弁護士　浦野弘明さん	能美市寺井町・寺井地区公民館3階
	23	水	12:50	第85回　怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園教育会館口
	26	土	13:00	日朝協会石川県支部総会 日中合唱交流と731部隊陳列館などハルビン見聞報告・北野春男さん	金沢市香林坊・石川県教育会館2階
	27	日	13:00	北陸原水協学校「子供たちの未来に核兵器のない世界を渡そう」 講師・前川史郎 日本原水協常任理事	金沢市三社町・石川県女性センター
2	2	土	13:30	石川県労働者学習協議会・友寄英隆講演会「AIの進化と労働過程の変化」	金沢市青草町・金沢市近江町交流プラザ4階集会室
	12	火	12:00	原発をなくす石川県連絡会　原発廃炉アピール行動	金沢市武蔵町・Mza前
	16	土	13:30	石川県健康友の会連合会2019新春フェスティバル／講談師・神田香織「はだしのゲン」公演	金沢市昭和町・石川県立音楽堂交流ホール
	27(水)～3/1(金)			2019年ビキニデー	静岡県静岡市・焼津市
3	2	土	14:00	わらび座ミュージカル公演「北前ザンブリコ」	白山市吉城町・白山市松任文化会館大ホール
	9	土	14:00	3・11原発廃炉県民集会(仮題)とデモ行進 メモリアル講演・福島県楢葉町 宝鏡寺住職　早川篤雄さん	金沢市香林坊・石川県教育会館3階ホール
	24	日	10:00	石川県保険医協会総会記念講演／仲里尚実さん・瀬長和男さん	金沢市堀川新町・ホテル金沢

＊祝日は休日とします　＊毎週金曜日18：30どいね原発アピール行動 金沢駅兼六園口　＊毎月15日石川県沖縄連帯デー12：00

＊会報「非核・いしかわ」のサポート会員を募集中です。年間購読料1,500円　ご紹介をお願いします。